

広島東商工会地域

中小企業景況調査報告書

令和5年度

令和5年4～6月期 実績

令和5年7～9月期 予測

令和5年10月

広島東商工会

中小企業景況調査の概要

1.制度趣旨	<p>この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。</p> <p>調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。</p> <p>広島東商工会では、年度中に1回の調査を行い、当会地域の景況データを解析、報告書に取りまとめ、事業者の経営判断の一助になること、当会による事業者支援を効果的に実施することを目的として、広島県商工会連合会が作成・公表した第172回報告書に追記して公表する。</p>
2.調査対象	(対象地区)広島東商工会地域の会員事業者 (対象企業)100者 製造業25 建設業25 小売業25 サービス業25
3.調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4.調査期間	令和5年4～6月期実績、及び令和5年7～9月期見通し
5.調査時点	令和5年8月31日

6.DIとは Diffusion Index(景気動向指数)の略。各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。

DIがプラス(+)なら……強気(楽観)、上昇機運

DIがマイナス(-)なら……弱気(悲観)、低下気運

例)業況で回答割合が増加50%、不変30%、減少20%の場合

$DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表す

7.表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次の通り。

「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満

「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満

「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8.その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に広島県商工会連合会が集計、編集したものに倣い集計したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

■(独)中小企業基盤整備機構(3団体を含む全国版報告書)

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

■中国財務局(中国地方の経済情勢)

<https://lfb.mof.go.jp/chugoku/>

■広島県(広島県の産業経済動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/>

■広島県商工会連合会(県連からのお知らせ)

<https://www.active-hiroshima.jp/kenren>

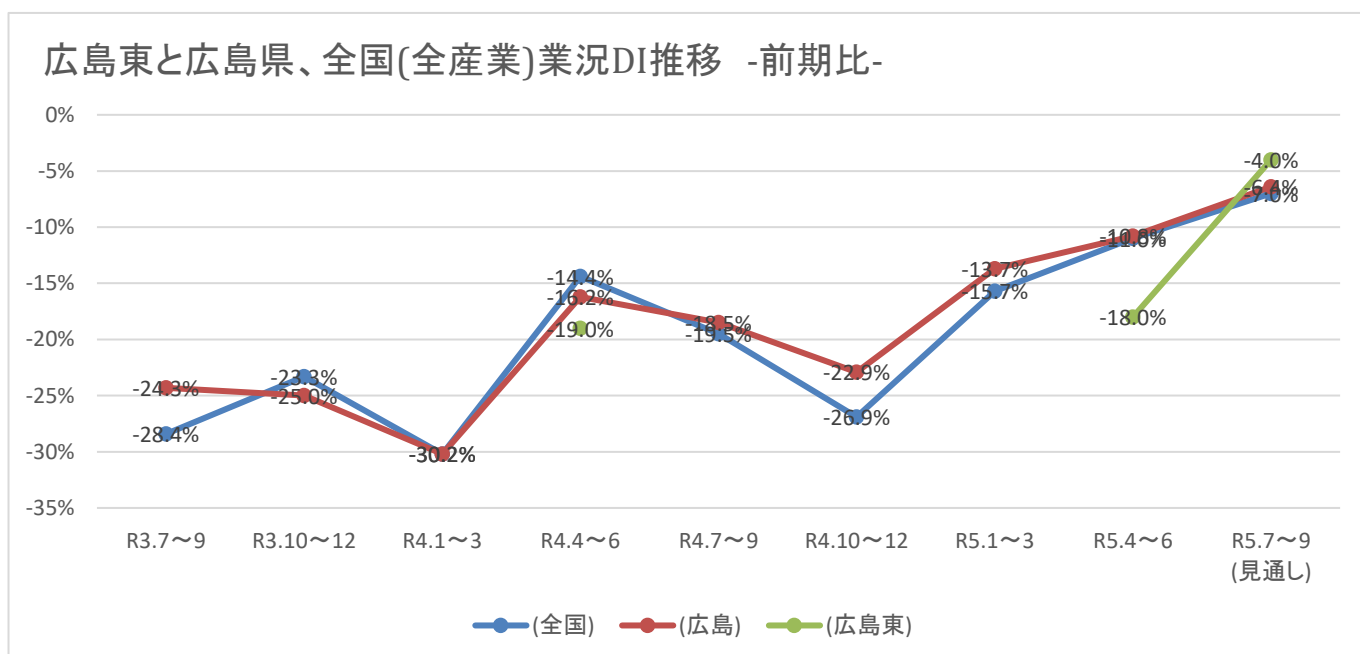
産業全体の概況

1. ポイント ※(独)中小企業基盤整備機構「第172回中小企業景況調査(2023年4-6月期)のポイント」より

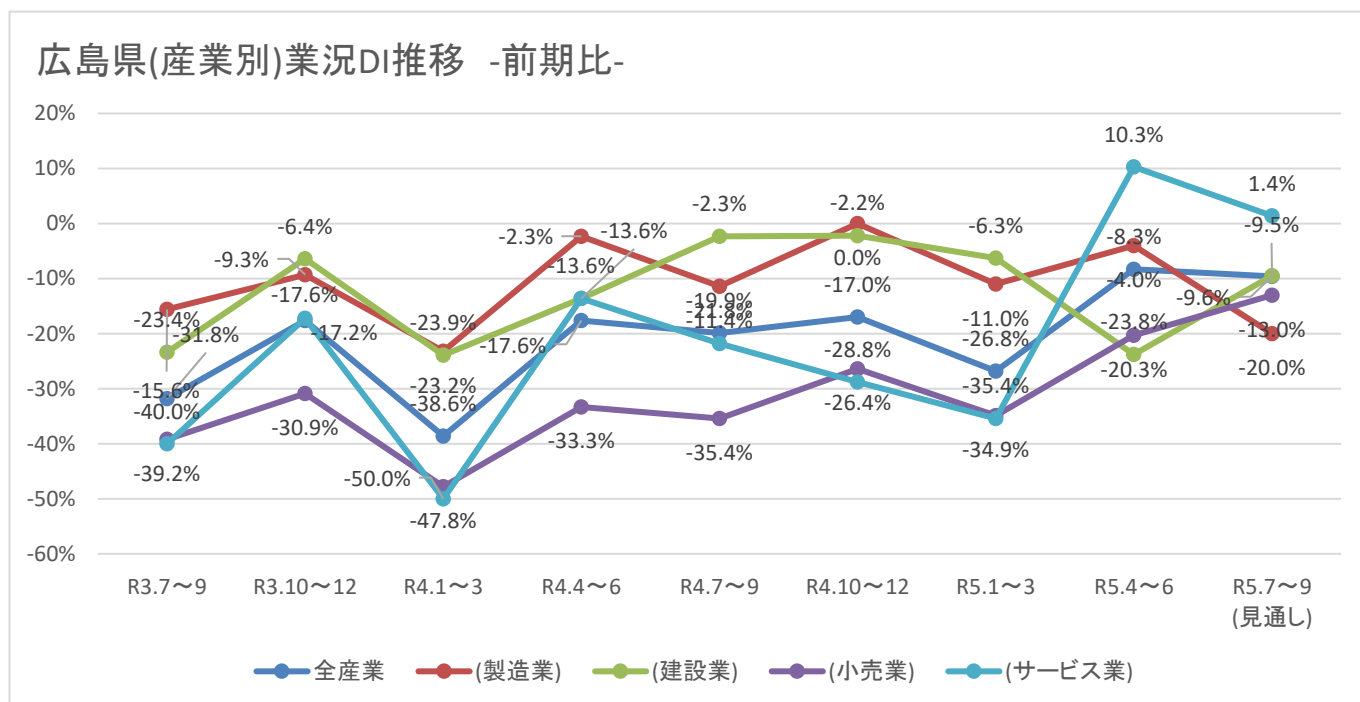
- ・ 中小企業の業況判断DIは、2期連続して上昇
- ・ 売上単価・客単価DIは、上昇基調を継続
- ・ 飲食業の業況は、コロナ前の水準を超えて回復

2. 広島東商工会地域と広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会3団体データを含む

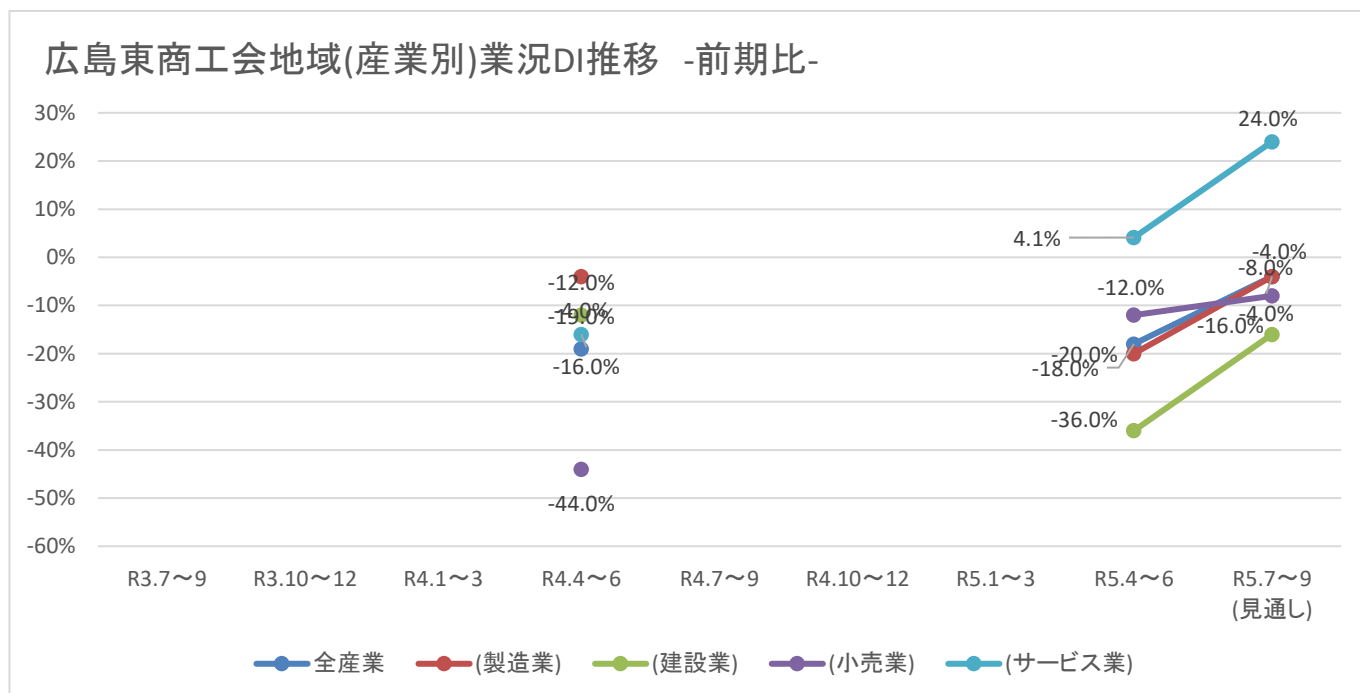
※広島東はR4.4~6・R5.4~6期以降のみ



3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

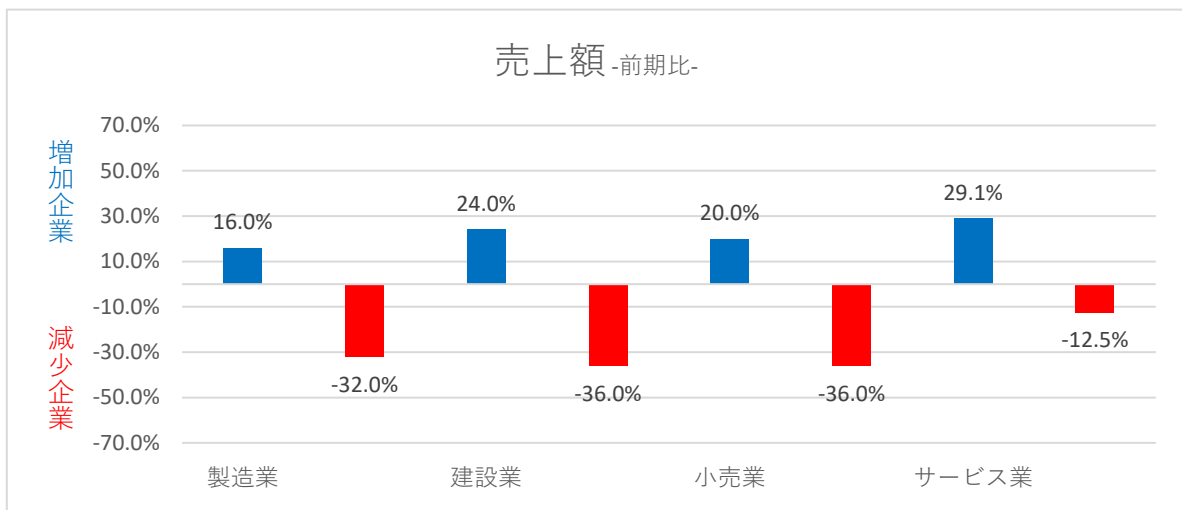


4. 広島東商工会地域(産業別) ※広島東商工会地域のみ ※R4.4~6期・R5.4~6期以降のみ

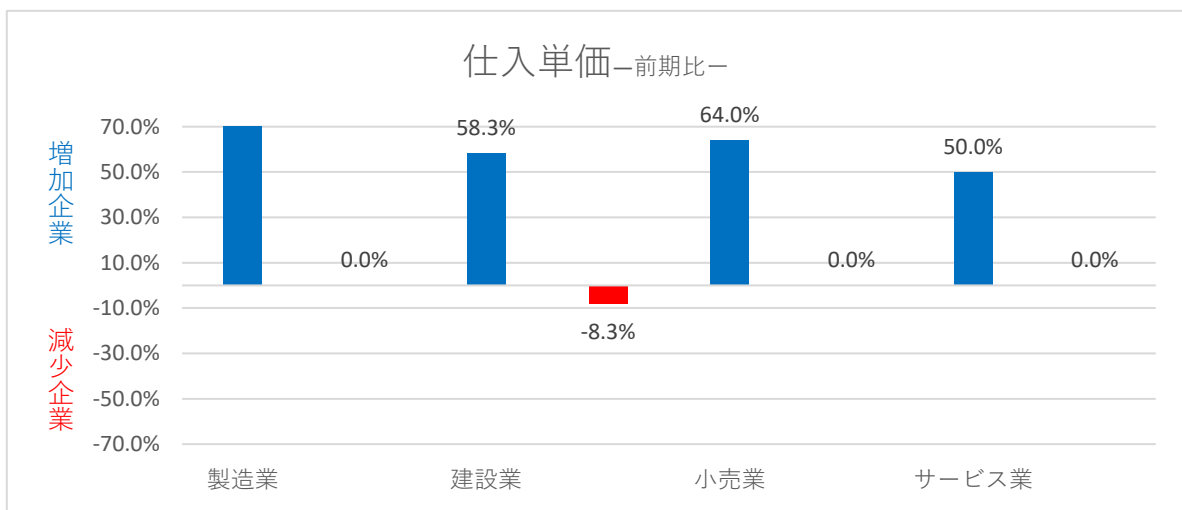


主要景況項目ごとの比較 ※広島東商工会地域のみ ※R5.4～6期

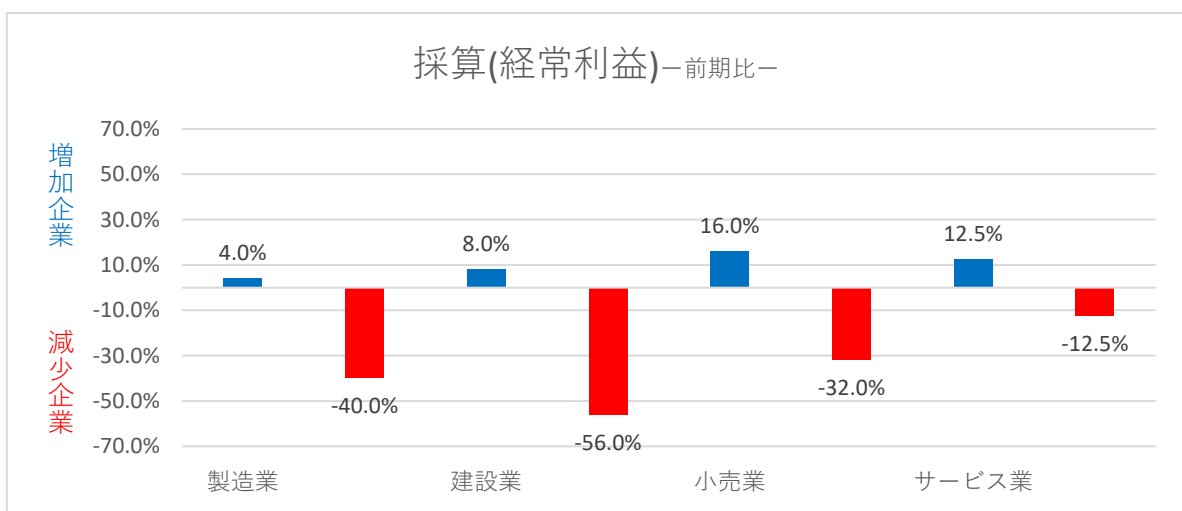
1. 売上額



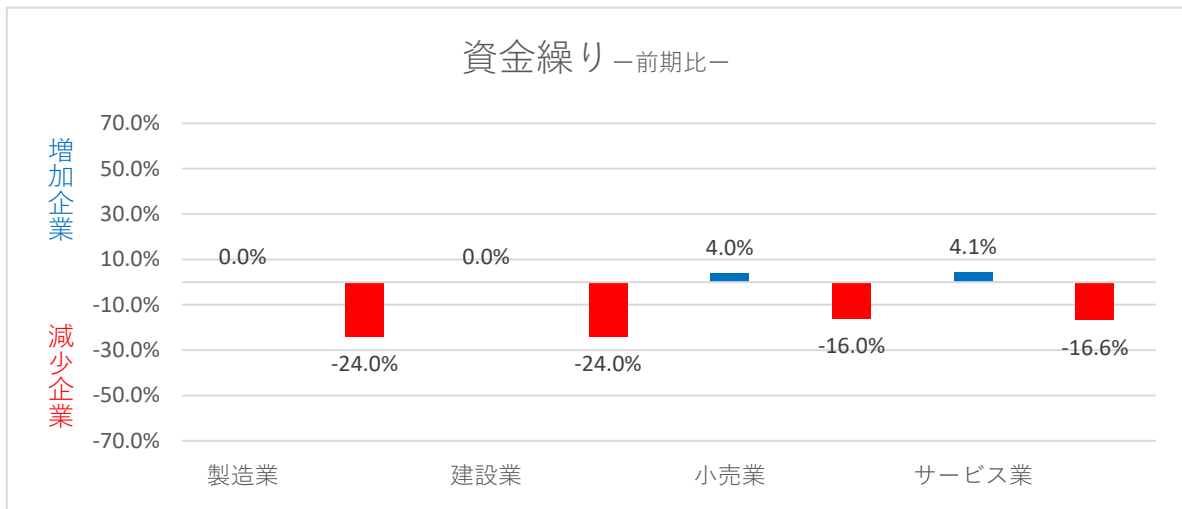
2. 仕入単価



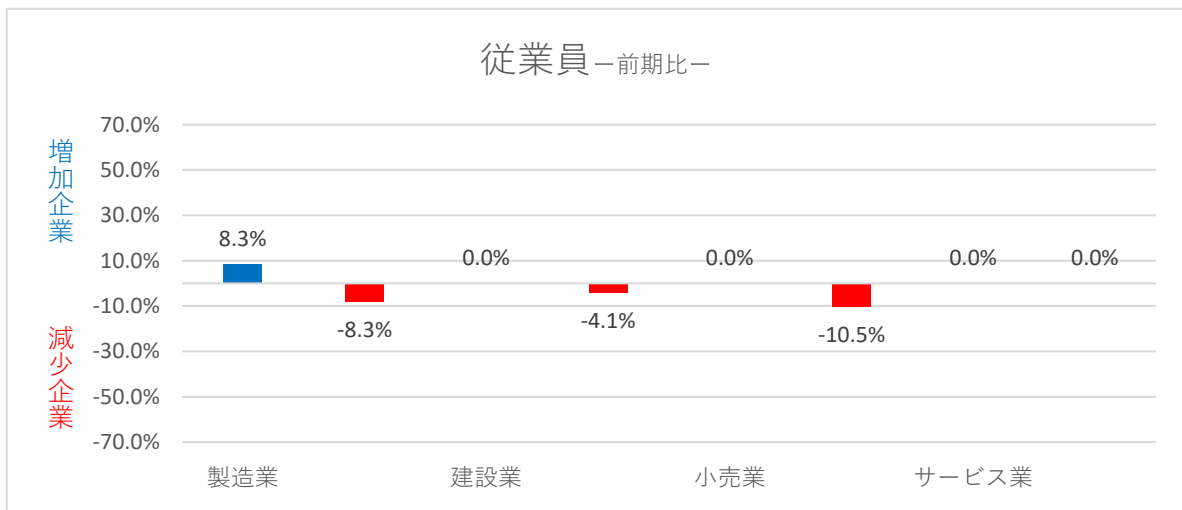
3. 採算(経常利益)



4. 資金繰り



5. 従業員(含臨時・パート)



※サービス業については、変動なし